

アイススケート部連覇ならずも大健闘!

経スポ



全日本準優勝!

本学アイススケート部が10月20日から21日にかけて長野県八ヶ岳の麓、野辺山帝産アイススケートリンクで開催された第35回日本学生ショートトラックスピードスケート選手権大会に出場した。

昨年度この大会で悲願の全国制覇を達成した本学アイススケート部は他大学にマークされながらも二連覇を目指した。1日目、五百メートルでは坂本侑馬(経営2年)が3位、上村翔太(経営4年)が6位、吉川政志(経営3年)が2位と順調に得点を稼ぐも、総合力に優れた山梨学院大学、世界大会経験者を擁する神奈川大学に続く総合3位で1日目を終えた。

を残し、この時点で4点差をつけられてしまった。

本学が二連覇するには最終の五千メートルリレーで本学が1位、山梨学院大学が3位以下の場合しかなくなってしまうが選手達は諦めることなく果敢に勝負に出た。リレーメンバー4名の懸命の滑りで他大学を圧倒。レース途中からは本学の独走状態のまま1位でゴールイン。総合優勝を信じて結果を待つが山梨学院大学がこのレースで2位に入ってしまうその差、僅か1点(山梨学院大学32点、大阪経済大学31点)で本学の大会二連覇の夢は断たれてしまった。

今大会は山梨学院大学が選手一丸となって常に本学を目標に1点でも多く点数を取りに来たのと対照的に、優勝候補筆頭と言われながら思わぬミスが多かった本学との差が出てしまった。それでも昨年度の全国制覇に続き全国準優勝の成績をあげた本学アイススケート部の健闘は誰もが認めるところであろう。次年度はぜひとも王座奪回を期待したい。

発刊：大阪経済大学
スポーツ文化振興室

経大

